

特定非営利活動法人ぐらす・かわさき 第4期中期計画 2013-2015

1. 「ぐらす・かわさき」の目的

NPO 法人「ぐらす・かわさき」は定款第3条で活動の目的を以下のように掲げている。

- ・ 誰もが暮らしやすい地域社会をつくるために、地域の人々が日々の暮らしの中で気がついた問題を持ち寄り、語り合い、経験や情報を共有する場をつくる。
- ・ 市民が有用な情報を入手し、読み解く力をつけ、自らが問題解決の手法を獲得し、主体的に問題を解決していくことをめざし、その活動を応援する。

この目的を実現するために「今後3年間に何を重点的な活動にするのか」を明らかにしたものが中期計画である。

2. 期間

第4期中期計画の実施期間は2013年4月～2016年3月とする。

3. 中期目標

(1) 「遊友ひろば」の事業を整理し、様々な場所での交流の場を模索していく。

地域社会における人間同士のつながりを深めるため、誰もが気軽に立ち寄り利用できる場所として、親しまれてきた「遊友ひろば」。元気な高齢者の居場所、子育て支援のひろば、子どもたちへの学習サポートなど地域課題の解決に一定程度の成果があったが、10年経ち、それらの課題解決の場は他にも広がり、ぐらす・かわさきが率先してやらなければならないという役割は果たせたと考えられる。運営できる財源が逼迫してきたことを考慮し、様々な団体との連携を2013年9月まで試行し、「遊友ひろば」事業内容を整理しつつ、北部でもさまざまな場を活用する方向で模索していく。

(2) 「メサ・グランデ」のコミュニティビジネス・インキュベーターとしての機能を充実させる。

「メサ・グランデ」は地域の課題を解決するコミュニティビジネスの創出の場である。その機能をさらに広く知らせ、コミュニティビジネスといえはメサ・グランデで相談できる、実践できる、勉強できるというところまで引き上げる。そこでは新しい仕事のあり方や働き方を生み出すため、地域の人たちの意思と能力を引き出し、コミュニティビジネスを支援する場としての特色を強化する。その場を維持していくための経営ノウハウを身につけ、コミュニティビジネスの実践者となる。

また、コミュニティカフェとして、地域の人が地元の野菜の購入や、食を通じた交流ができる環境を整え、食と農の地域交流拠点として、事業性を高めていく。地域のひとたちの情報を持ち寄る場、出会いの場としての役割を果たす。

(3) 地域のお金が地域で循環する仕組みづくりに参画する。

志のあるお金、共感を表す一つのツールとして寄付の受け皿を作り、地域の課題解決に取り組んでいるNPOに助成する、「志金」が循環する仕組みづくりに参画する。2012年度のかわさきサポート基金の試行事業をベースに、さまざまなセクターをネットワークし、新たな地域市民ファンド設立準備委員会をつくり、その委員会の事務局として市民ファンド設立を目指し、設立後はそこに参加する。

4. 事業計画

(1) 遊友ひろば

- ・ 2013年度はボランティアの人たちの協力による運営体制をつくり、事業を実施する。また、秋までは

連携できる団体の発掘にチャレンジする。それらの結果によって、継続するが閉鎖するか理事会で決断する。閉鎖や、事業を整理する場合は、利用者のフォローを行う。

(2) 地域子育て支援センター

新しい地域の「子育て支援拠点」として、2012年度に川崎市から受託した枳形、大戸の各子ども文化センター内の「地域子育て支援センター」事業については、地域のお母さんたちとともに実施し、地域の子育ての課題を解決することを地域住民が自ら主体的に取り組むための場として運営する。

(3) メサ・グランデ

- ・コミュニティビジネスの創出を支援するインキュベーション施設として、存在意義・目的を明確にしていく。事業の大きな柱としては、コミュニティビジネス起業家への直接的な支援を行う「コミュニティカフェ起業支援事業」・「コミュニティビジネス支援事業」とする。
- ・地域の交流拠点、コミュニティづくりの場として、「八百屋事業」・「飲食事業」を展開し、その採算性を向上させる。地元の野菜・安心な食事や喫茶の提供を行うことで、地域のコミュニケーションを促進し、地域住民の食生活・食文化の向上に寄与する。地域の活動などにあまり縁のない人たちも、野菜や食というツールがあることで、気軽に店に立ち寄り、メサ・グランデの各事業や地域の情報に触れることができるようにする。
- ・働きにくさを抱えた人も自分らしく働くことができる地域社会になることで、だれもが暮らしやすい社会の実現を目指し、働く場の確保に取り組む。

(4) かわさき市民ファンド設立準備委員会への参加

さまざまなNPOや企業、商店会、行政、大学などと新しい財団を設立し、ファンドを運営していく体制を構築する。ファンド設立後は、ぐらす・かわさきは、運営主体に対して積極的に協力していく。

(5) その他の活動

ぐらす・かわさきのミッションに合致する事業を積極的に提案する。その上でぐらす・かわさきがやるべき事業については受託をめざす。

※但し、中期目標・事業計画は事業の進捗状況如何で、途中変更の可能性はある。